

議会だより

第47号

水・緑・歴史が薫る文化創造都市

木津川市議会



議員定数20人へ 本 会 議..... 2~3
交流会館等 指定管理者決定 常任委員会..... 5~7
市民の意見を聞く公聴会開催 特 別 委 員... 10~11
市民と議会のつどい・3月議会予定 12~13
19人が市政を問う 一 般 質 問... 14~23

すがすがしい心で
書き初め

加茂小学校 4年生

22人を20人へ

12月定例会は、11月30日から12月25日までの26日間の会期で開催した。

議案20件・同意2件・諮問2件・請願3件・議員提案5件を審議し、議員提案の1件・請願の1件（一部採択）を除き、可決・同意・採択した。

議員定数を定める条例の一部改正

者が削減の根拠を明確に示さないので審査が不十分。継続審査が必要。

宮嶋 良造

9月定例会から閉会中の継続審査となっている

議員定数の改正案は、特別委員会の審査の結果、再度閉会中の継続審査となり、本会議で継続審査の採決が行われた。

継続審査 反対討論

来年4月に選挙がある中、12月議会が発議可否を図る期限。議員全員の判断を聞くべき。継続審査に反対。森本 隆

継続審査 反対討論

選挙が目前に迫っている中、定数削減案及び請願について、9月定例会に続き再継続されたことは困る。議員は議決権を行使し採決すべきである。

谷川 光男

継続審査 賛成討論

議員数を何人にするかは、市民の政治参加の最重要課題。しかし、発議

特別委員会で再審査後

委員会で可決となり、

本会議において、自由討議の動議が提出され、その後審議が行われた。

反対討論

財政面は報酬減で対応可能。市の現状や課題を解決する議会の役割を考えない削減だ。市政をチエックし市民の声を届ける議会の役割が弱まる。

宮嶋 良造

賛成討論

議員定数を削減して、経費削減とペーパーレス化等の業務効率アップを図るべき。発議に賛成。

森本 隆

反対討論

根拠とメリットの説明

賛成多数で可決

（賛成11人・反対9人・欠席1人）

（仮称）新学校給食センター新築工事請負契約の締結

全員賛成で可決

がない。選挙前のパフォーマンスの削減には反対。

森本 茂

が市はどのように思うか。
A 最低制限価格は適正。競争性の高い入札が行われた結果である。

Q 新学校給食センターの稼働時期は。

A 工事完了は2020年2月。同年4月からの稼働を目指す。

児童生徒の増加に伴い、

学校給食の質的充実を図るため、新学校給食センターを建設するもの。

○契約金額 17億303万円。

○契約相手 東亜・清水エンジニアリング特定建設工事共同企業体。

Q 入札の結果、最低制限価格より2者下回った



（仮称）新学校給食センター完成予想図

市会議員の定数

人事院勧告による職員給与の引き上げ

公務員給与が民間給与を下回っているとして、職員給料を0・2%・勤勉手当を0・05月分を引き上げる。

全員賛成で可決

人事院勧告による議員・特別職の期末手当引き上げ

Q 市民の生活が厳しい中、議員や特別職の期末手当の引き上げは、理解が得られないのでは。

A これまで特別職や一般職は、国の人事院勧告に基づき給与、手当等の改正を行ってきたとおり、今回も勧告に基づき改正する。

議会議員の期末手当

反対討論

職員の引き上げは賛成。

議員の期末手当の引き上げは市民の理解が得られない。特別職報酬等審議会に諮れるよう条例改正を求めて反対する。

宮嶋 良造

特別職の期末手当

反対討論

職員給与の2%減額中に市長・教育長らの期末手当引き上げは間違い。市民生活が苦しい時に理解されない。条例改正し報酬審議会に諮ること。

宮嶋 良造

賛成多数で可決

(賛成16人・反対5人)

地区計画区域内における建築物制限に関する条例の一部改正

当尾の郷会館のさらなる有効活用を図る改正。

全員賛成で可決

一般会計補正予算

主な内容は、人事院勧告に準拠した給与改定や緊急事案への対応、次年度以降の事業展開に必要な予算の計上など。

修正動議を提出

宮嶋、九社前から特別職の期末手当を削除する修正動議が提出された。

修正案 賛成討論

補正予算全体は評価できるが、職員の給与カット2%を断行した市長は本俸2割増の役職手当をつけたままの期末手当。特別職全員分を除くべき。

西山幸千子

原案 賛成討論

人事院勧告に基づき国に準拠した人件費の改正。また、災害の被災者支援、城山台の児童クラブ予算など、子育て支援が図られ賛成。

倉 克伊

修正案は賛成少数で否決

(賛成5人・反対16人)

原案は賛成多数で可決

(賛成16人・反対5人)

社会教育施設の指定管理者の指定

交流会館(中央・西部)

は、木津川市緑と文化・スポーツ振興事業団。

加茂文化センターは、

日本環境マネジメント(株)。

山城総合文化センター

等施設は、木津川市NEM・SPH共同事業体。

交流会館(中央・西部)



加茂文化センター

Q 指定管理の期間が、3年から5年となった理由は。また、指定管理者の評価は。

A 施設の効果的な運営を発揮するためには5年が適当であると判断。利用者等のアンケート調査で利用しやすいという評価であった。

全員賛成で可決

人事案件

○旧北村旧兎並村旧里村財産区管理会管理委員の選任

吉村 啓一氏

中野 兼次氏

川西 毅氏

増本 宏一氏

○旧加茂町財産区管理会管理委員の選任

草川 元男氏

○人権擁護委員候補者の推薦

松島 謙治氏

宮本めぐみ氏

請願

議員の定数削減を求める
請願

請願者 福澤 修一
紹介議員 谷川 光男・谷口 雄一

請願項目

- ①改選までに、議員定数2名以上の削減を求める。
- ②市民の代表である議会活動の見える化を。

賛成多数で採択

(賛成11人・反対9人・
欠席1人)

城山台放課後児童クラブ
の環境改善を求める請願

請願者 城山台学童保育
を考える親の会

北口 みき・星 育子
高瀬 千尋・坂手 絵美

紹介議員 高岡 伸行
森本 茂・西山幸千子

九社前串朗・長岡 一夫

請願項目

- ①希望する子どもたちが放課後児童クラブに入所できるように。
- ②子どもたちの安全確保と施設の充実を。

全員賛成で採択

子どもたちにゆきとどいた教育条件と子育て環境
を求める請願

請願者 いきいき子育て
ネットワーク

田中 道子・小森 洋子
松田 森幸

紹介議員

宮嶋 良造・九社前串朗

請願項目

- ①児童・生徒、学校機能の多様化に対応できるように、学校施設のバリアフリーをすすめてほしい。
- ②近隣市町村では、給食費の無償化が進んでいる。給食費の無償化が進んでいる。
- ③音楽・図工・英語などの専科教員を各校に配置するよう府に要望を。

給食費の軽減を。

③音楽・図工・英語などの専科教員を各校に配置するよう府に要望を。

するよう府に要望を。

賛成討論

指定避難場所でもあり高齢者や障がい者が使用する体育館を始め、車いすの子どもに必要なバリアフリーさえ進んでいない状況を改善すべき。

西山幸千子

項目別採決の動議が提出され、賛成多数で可決

①は賛成少数で不採択

②は賛成少数で不採択

③は全員賛成で採択

請願項目

- ④公立保育園の統廃合の見直しを。

賛成討論

近くの民間保育園で、障がいがあるなら公立へと言われた保護者もいる。長く培われた経験を生かし、公立でしかできない事も多く、願いに賛成。

西山幸千子

賛成少数で不採択

(賛成5人・反対16人)

意見書

ゴルフ場利用税の堅持を
求める意見書

提出者

賛成者

高岡 伸行
西岡 政治
酒井 弘一・森本 茂
島野 均・九社前串朗

現在、医療・介護などの社会保障、子育て支援、教育をはじめ、重要な財源であるゴルフ場利用税の堅持を求めるもの。

全賛成で可決

全賛成で可決

地方消費者行政に対する
財政支援の継続・拡充を
求める意見書

求める意見書

提出者 総務文教委員会

消費生活相談体制の整備等、地方消費者行政推進交付金の財政支援の継続・拡充を求めるもの。

全賛成で可決

下水道施設の改築に係る
国庫補助の継続に関する
意見書

提出者

賛成者

高岡 伸行
長岡 一夫
酒井 弘一・森本 茂
島野 均・九社前串朗

下水道は高い公共性を有する社会資本であり、国庫補助の継続を強く求めるもの。

全賛成で可決

全賛成で可決



市坂地区の下水道工事
仮復旧跡

高齢者が安心して暮らせる介護保障の実現にむける意見書

の意見書

提出者

賛成者

西山幸千子
長岡 一夫・九社前串朗

介護保険財政の国の負担割合を引き上げ、総合事業への財政措置を含めた支援、生活援助の回数制限を見直すことを求めるもの。

反対討論

介護給付費は今後も増大が見込まれ、国負担の引き上げは厳しい。訪問による生活援助の回数設定は具体的な利用状況に配慮されたものである。

谷口 雄一

賛成討論

度重なる介護保険制度の変更によって、国民のなかに不安と困難が広がっている。国は保険料、サービスなど適切な支援を行うべきだ。

森岡 譲

賛成少数で否決

(賛成9人・反対10人・
退席2人)

国と同様に 給与・期末手当 等を改正

総務文教委員会

12月4日に委員会を開会し、議案12件、請願1件、意見書1件を審査した。

**全議案可決
請願1件一部採択**

職員給与の条例改正

Q 職員給与0・2%と勤勉手当0・05月分引上げである。市の人事評価の状況は。

A 30年から勤勉手当に反映。能力と業績を5段階で評価。

全員賛成で可決

議員報酬等の条例改正

Q 期末手当は、報酬審議会に諮る検討はしたか。

A 審議の対象外である。

反対討論

職員に連動しての引き上げは理解が得られない。

賛成多数で可決

特別職報酬等の条例改正

Q 期末手当の計算において特別職で給料の20%を足しているが。

A 合併時に管理職加算をするよう条例を制定。支給額は他市と比べても高くない。

反対討論

検討が不十分であり、

全員賛成で可決

賛成多数で可決

臨時職員賃金の引き上げ

Q 引き上げの内容は。

A 一般事務は920円。31年最低賃金3%引き上げに対応できるよう想定。

全員賛成で可決

交流会館の指定管理

(公財)木津川市緑と文化・スポーツ振興事業団を指定管理者とするもの。指定期間は31年4月1日から5年間。

Q 法人の住所が中央交流会館と同じであるが、施設の使用料は。

A 年間3万7775円(6㎡分)。

市民の理解が得られない。

加茂文化センターと山城総合文化センターの指定管理

加茂文化センターは日本環境マネジメント(株)に、山城総合文化センター等施設は木津川市NEM・SPH共同事業体を指定管理者とするもの。どちらも指定期間は5年。

Q 3年間の評価は。

A 子どもを中心としたイベントやコラボ等開催し、高評価である。

全員賛成で可決

教育条件と子育て環境の改善を求める請願

請願者は3336人。請願者2人が意見陳述後、項目ごとの採決となり、「専科教員の配置を府に要望」を賛成多数で採択。

その他は不採択。(内容は4ページ参照)

研修報告

先進的なICT教育

11月6日、富山県射水市で「ICT教育の推進と学力向上に向けた取り組み」を研修。

ICT教育は、29年度から学級復帰支援協働事業、電子黒板付きプロジェクトの活用、ICTマイスター教員の人材育

成を取り組んでいる。31年度に中学校6校、全てLAN環境を整備予定。確かな学力の育成のため、実践研究、小学生学び応援塾、マイスター教員認定制度等に取り組んでいる。

3ム改善実施

11月7日、石川県小松市で「行財政改革の取り組み」を研修。

3ムとは無駄、無理、ムラである。

行財政改革とは将来負担軽減、基金残高の増加、人員スリム化等に加え、3ムの業務改善である。

また、地域防災力は100%達成。モニタリングフレックスの導入。小松駅前に行政窓口を設置。財政健全化とたゆまぬ人づくり、暮らしの質を高めることを学んだ。



山城総合文化センターのイベント

城山台学童の 請願を全員賛成 で採択

厚生常任委員会

12月5日に委員会を開会し、議案2件、請願2件、陳情1件を審査した。

**議案2件可決
請願1件採択**

国保特別会計の補正予算

3億5333万円を追加し、予算総額を72億5751万円にする。

主な収入は、前年度繰越金3億3138万円、主な支出は、基金積立金1億8716万円、国への償還金9215万円。

Q 基金合計は3億8500万円になる。国保税額引き下げの見直しは。

A 府の標準税率の提示もまだであり、会計自体に余裕はない。

全員賛成で可決

後期高齢者医療特別会計の補正予算

1146万円を追加し、予算総額を8億4905万円にする。

主な収入は、前年度繰越金880万円と一般会計繰入金266万円、主な支出は、広域連合納付金740万円。

Q 国は人間ドックの補助を廃止する。府と市の方針はどうか。

A 人間ドックは有効であり、財源を確保し補助を継続する。国に補助の継続を強く求める。

全員賛成で可決

城山台児童クラブの 環境改善を求める請願

請願内容

○希望する子どもたちが放課後児童クラブに入所できるようにしてください。

○子どもたちの安全を確保するために施設の充実を図ってください。
請願者2人が意見陳述。

Q ピークを何人と考えているか。

A (請願者) 市は400人とするが、600人程度ではないか。

全員賛成で採択

子どもたちのためにゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願

請願内容

○公立保育園の統廃合を見直してください。



子どもの声があふれる城山台

請願者1人が意見陳述。

Q 木津、加茂、山城にそれぞれ拠点の公立保育園が残されるが。

A (請願者) いづみ保育園から南加茂台までは距離が2kmと遠い。小規模園のメリットを大切にしたい。

行政の説明を求め質疑を行った。

Q 通園の距離が遠いことを心配する声がある。

A 保育園は市を一つの通園区としている。

Q 民間保育園で障がいのある児童を断る事例があると聞くが。

A 施設条件や加配保育士の確保の関係で断るケースがある。

Q 2019年10月から保育料が無料になる。入園希望が増えて公立保育園存続の必要が出ないか。

A しっかり検討する。

その他の報告

・家庭系可燃ごみ有料指定袋制の導入の状況。
・第1次自殺対策計画(案)。

当尾の郷会館 地区計画の 設定

産業建設委員会

12月7日に委員会を開会し、
議案4件、報告3件を審査した。

全議案可決

建築物の制限に関する 条例改正

当尾の郷会館を特定エリアとして設定し、市街化調整区域の例外として施設の有効活用を図る。

下水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出をそれぞれ200万円減額。収入総額は23億4778万円、支出総額は23億7778万円となる。

Q 当尾小が閉校してから条例改正までの時間がたち過ぎていたのでは。
A 都市計画法第43条の許可を受け、郵便局と集会所の用途変更を行ったが、さらに利用用途を拡充するには地区計画を設定する必要があったため。

全員賛成で可決

市道の路線認定

41路線の市道を認定。

Q 通り抜けができない道路の認定方法は。
A 行き止まり道路であっても、終点に十分回転できる広場がある場合は、認定をしている。

全員賛成で可決

水道事業会計補正予算

収益的収入を1万円増額し、収入総額16億9245万円とし、収益的支出を92万円減額し、支出総額17億4451万円とするもの。給与改定に伴う補正。

Q 加茂浄化センターの処理場委託料で200万円減の理由は。
A 汚泥運搬業務の指名競争入札で6社が入札。低入札となり差額の一部200万円を減額。

全員賛成で可決

研修報告

総合治水対策の取り組み

10月31日、愛知県小牧市に、総合治水の具体的な取り組みを視察。

昭和55年に新川流域総合治水対策協議会を設置し、昭和57年に新川流域整備計画を策定。

平成12年の東海豪雨で甚大な浸水被害を受けたのが契機となり、災害対策を実施。

河川課では、公園・グラウンド等に貯留浸透施設を設置するとともに、水田貯留事業を実施。

農政課では、ため池の改良。

区画整理課では、調整池の設置。平成18年度末までに51カ所、約11万8千立方メートル（工事費約25億円）の対策を講じ、災害に強いまちづくりの推進に取り組まれていた。

景観保全の取り組み

11月1日、愛知県常滑市で常滑やきもの散歩道地区景観計画を視察。

「ものづくりが受け継がれ、まちなみに誇りを

持つ人々に守られた、やきもの散歩道地区の景観を保全すること」を目的として「やきもの散歩道地区景観計画」を策定。地域住民の協力を得て、建築・届出行為の制限、景観形成基準などを定め、景観保全に努めていた。



やきもの散歩道地区景観計画を研修(愛知県常滑市)

加茂人権センターを改修

補正予算特別委員会

12月10日に委員会を開会。一般会計予算を2億3236万円増額し、287億7744万円とするもの。賛成多数で可決。

主な質疑

加茂人権センターの改修

Q 改修工事の内容は。

A 解体157万円、擁壁386万円、フェンス撤去と新設で94万円等を見込んでいます。

防犯灯整備事業

Q 防犯灯LED化の進捗状況は。

A 調査事務は市内全域で完了。10月中旬から設置工事を進め、31年1月下旬までには全て設置終了予定。

城山台児童クラブ

Q 城山台児童クラブの備品購入費を増額したが、現時点の状況は。

A 定員は145人。10月の新年度の受付において211人の申し込みがあり、城山台小学校の空き教室を利用する。

Q 1教室でいけるのか。

A 学校と協議を進めている。

家庭系可燃ごみ処理手数料を増額

Q 収入が増加しているのはなぜか。

A ごみ袋が10月に予想以上に購入されたことによる。

Q 市民説明会の開催状況は。

A 10月以降は5回で95人。合計で127回開催し、3740人が参加。

期日前投票所

Q イオンモール高の原3階へ変更すると聞くが、経過と予算の内容は。

A 前回実施した2階の場所は、使用が困難となったため、3階に変更する予定。そのための必要な配線等の予算を計上。

修正動議を提出

議員および特別職の期末手当を削減

原案 賛成討論

児童クラブ、台風災害などに対応しており賛成。

修正案 賛成討論

特別職等期末手当のアップは認められない。

修正案は賛成少数で否決
原案は賛成多数で可決

補正予算第4号の主な事業

加茂人権センターの改修	2185万円新
野菜等生産施設の台風災害復旧補助	3824万円新
城山台児童クラブ備品購入	213万円新
循環型社会推進基金積立金	2417万円増

委員長	副委員長	委員
片岡 廣	伊藤 紀枝	谷口 雄一
長岡 一夫	西山 幸子	柴田 はすみ
山本 和延	炭本 範子	谷川 光男
倉川 克伊	酒井 弘一	

組合議会報告

基金利息は減少

(加茂笠置組合)

10月30日、定例会開会。
認定1件を審議。

29年度決算は、収入2006万円、支出1839万円、差引167万円の黒字。

収入の主なもの、線下補償金1252万円、財政調整基金繰入金150万円。支出の主なものは、線下補償組合負担金105万円、基金積立1370万円。

Q 基金運用の状況は。
A 利率の良い金融機関に集約し、効率的な運用に努めているが、利率は年々減少している。

全員賛成で認定

院内にコンビニ開業

(山城病院組合)

11月8日、定例会開会。
承認2件、同意1件、認定2件、議案3件を審議。

29年度病院会計決算は、救急車受容率向上の取り組み等により事業収益は前年度を上回ったが、給与費の増加により、約9400万円の赤字決算となった。

損失額は前年度比で約2900万円改善された。

全員賛成で認定

29年度介護老人保健施設会計決算は、開設以来最高の入所者数を確保し、約320万円の純利益を計上。昨年度に引き続き黒字決算となった。

【報告】必要な衛生用品や雑貨の販売、ATM設置、公共料金支払のサービスを提供するため、10月からコンビニをオープンした。



山城病院内のコンビニ

はしご車を奈良市と共同で整備

(相楽中部消防組合)

11月19日、定例会開会。

認定1件、議案2件を審議。

管理者から、消防本部庁舎建設地を城山台9丁目1番地に決定。

また、奈良市北消防署

とはしご車の共同整備を進めるなど報告があった。

議会を中断し、全員協議会を開催。本部庁舎建設候補地は木津川市が決定。建設関連予算などは検討中と説明があった。

29年度決算は、収入14億4501万円、支出14億1319万円。

Q 救急車の現場到着時間と収容所要時間の状況はどうか。

A 近場が多かったため到着時間が短縮した。遠くへ移送する場合もあり、所要時間は長くなった。

全員賛成で認定

相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計決算は収入2143万円、支出1678万円。

全員賛成で認定

大谷処理場改修に9億円

(広域事務組合)

一般会計補正予算は、来年度から2年計画で大谷処理場を大改修する9億円の債務負担行為。春に公募型入札、6月に着工予定。

11月19日、定例会開会。
同意2件、認定2件、議案3件を審議。

公平委員に、藤木美能里氏、森脇美隆氏(和束町)を選任。

一般会計決算は収入3億4614万円、支出3億4443万円。

Q 172万円という高額な公会計支援の内容は。

A 公会計財務諸表の作成を外部委託した。来年度からは職員で作成する。

全員賛成で認定

職員給与条例の一部改正。人事院勧告に基づき、国と同様の給与改定を行うもの。

全員賛成で可決

29年度決算を認定

(環境施設組合)

11月26日、定例会開催。
議案3件を審議。

29年度決算は、収入4億1471万円、支出3億2795万円。差引8676万円の黒字。

議員定数条例。請願を審査し結論

議員定数及び議員報酬検討特別委員会

10月5日～12月25日まで、8回にわたり委員会を開催し、審査を行った。

10月5日

9月27日に提出された議員定数改正案の質疑を行った。

主な質疑

Q 削減することにより、立候補者が出にくくなると思うがどうか。

A (発議者) そうは思わない。削減すべきという市民の声も大きい。

Q 以前、府議の相楽郡選挙区の定数を増やす決議を提出しながら市議の定数を削減することは矛盾するのでは。

A (発議者) 決議は、木津川市・相楽郡の定数の府内均衡を見直して欲しいという内容であり、矛盾しない。

10月22日

定数条例改正案の質疑。

主な質疑

Q 定数2人削減する理由は。

A (発議者) 他市議会への視察研修や前回の選挙が無投票であったため。

Q 定数削減は次の選挙の公約にして民意を問えばどうか。

A (発議者) 定数は選挙までに決めるべきと考える。



本市の議員定数を議論

Q 改正案は、他市を参考にしたというが、人口、活性化とは何か。削減の面積、課題、財政面などメリット・デメリットは。市としての議論をすべき。

A (発議者) いろいろな課題を議論することで、市民に説明しやすくなる。メリットは、財政効果

Q 提出者が言う議会のや議会改革。幅広い世代が選挙に出やすいよう議論していく。デメリットは、市民の意見が汲み取りにくくなる懸念はあるが、議会を活性化し対応。

Q 財政面というなら報酬を下げればいいのでは。

A (発議者) 賛成の意見も数名いた。市民の意見は、賛成というように感じる。

11月14日

①公聴会の公述人の決定

公述人は5人と決定したが、賛成者の申し込みが4人であったため、一方に偏らないように、反対申込者11人のうちから4人を決定。

②定数条例改正案の質疑。

主な質疑

Q 「市民と議会のつどい」では定数削減の賛成意見は僅かであった。市民の合意に至っていない

11月25日

公聴会を開催。定数2人を削減する案に反対、賛成それぞれ4人ずつの公述人が意見を述べた。

公述人

反対の公述人

大釜 智光さん
天野 豊さん
田中 勝男さん
岩佐 仁志さん

賛成の公述人

花田 康子さん
大谷 康次さん
枅元 庸好さん
山内 信博さん



11月25日開催の公聴会

反対の公述内容（概要）

- 定数削減は、市民の声を議会に反映できない。市財政も危機的状況ではないことは明らか。
- 定数は、議会のあり方など考慮し、さまざまな評価により検討が必要。一旦取り下げを。
- 本市の人口は増加しており、多様な市民の意見を反映するには定数削減は時期尚早。
- 市民の意見は削減に反対が多い。民主主義の後退にもなり、一方的な削減に反対。

賛成の公述内容（概要）

- 財政状況が厳しい中で、職員給料もカットされている。議会の経費削減に賛成。
- 他市では本市の定数より少なく運営。持続可能な市を次の世代に引き継ぐことが必要。
- 本市は人口が増加し活性化している。発展する本市のため定数を削減して議会の発展を。
- 定数を削減し、財政の安定化をすべき。将来的に、市が発展し議会も活性化する。

11月27日

公聴会と議員研修を踏まえて定数条例改正案の質疑。

主な質疑

Q 人数には一定の根拠がある。しかも、合併ということで課題が多い中、削減する理由は。

A（発議者） 市民の請願もある。定数が削減されたから課題が解決できないということはない。

12月11日

定数条例改正案の質疑。

主な質疑

Q 議員の選挙は、市民にとって政治参加の最も大切であるにも関わらず削減することは横暴ではないのか。

A（発議者） 将来の市を思うと大切であるの思いから発議した。

宮嶋委員より本条例改正案を閉会中の継続審査とする動議が提出。

賛成多数で可決

12月21日

本会議で、閉会中の継続審査が否決となり、今会期中に結論を出すよう委員会を開催。

条例改正案の質疑を行った。

主な質疑

Q 議員定数を削減してどのような効果があるのか。

A（発議者） 前回無投票であったこともあり、定数の見直しも必要であると思う。

12月25日

定数条例改正案の質疑。

Q 議会基本条例に、議員定数は民意が正しく反映されなければならないと思うか。

A（発議者） 市民の1票1票が選挙を通じて正しく反映されるべきであると認識している。

Q 地域の様子をよく知

った議員が多いことが大切ではないのか。

A（発議者） 地域長等とも協力して、議会でも市全体のことを議論していったらと考えている。

長岡委員から、質疑終結の動議が提出され、可否同数となり委員長採決の結果、質疑集結となる。

委員長不信任動議。

宮嶋委員から、委員長の不信任動議が提出され、賛成多数で可決したが、委員長より職務を全うするとの表明があり、審査続行となった。

自由討議

○議員定数が減れば、地域による違いもあり、市民の願いが届かなくなり、民意が正しく反映できない。議会基本条例から見ても間違い。

○他市で同規模の自治体の議員定数は根拠となり、行財政改革からも削減に賛成。

削減に賛成。

○市民の声を聞くと、定数削減に反対する声はなかった。市民の意見を重く受け止め賛成。

○二元代表制の中で、議員を減らすことで行政に対するチェック機能、市民の声が吸い上げにくくなる。現状維持で良い。

反対討論

○削減には根拠もなく、民意が反映されない。

○監視機能の低下と市民の声が届きにくくなる。

○発議者は、定数削減のメリットが答えられなかった。

賛成討論

○民意を反映するために削減には賛成。

○民意が反映される一定の議員定数は20人。

賛成多数で可決

議員定数の削減を求める請願

賛成多数で採択

11月10日

市民と議会のつどい

9月定例会の審議結果と議員定数と報酬のあり方について、市民の皆さんと意見交換を行った。

東部交流会館

(参加者10人)

Q ごみ袋有料化となったが、事業系のごみと見分けがつきにくい。

A 行政には事業系のごみとの色分けをするように伝えている。

Q 城山台放課後児童クラブの児童数は、増加する予定である。受け入れは大丈夫か。

A 10月に200人以上の希望があった。市長に伝える。

加茂文化センター

(参加者13人)

Q 兜台保育園の完全民営化について、市民は不

安を感じている。

どのように変わるのか。

A 民営化することで、国からの補助金が受けられる。

職員の配置基準は、決められており、運営は従来と変わらない。

Q 循環型社会推進基金の今後の運用とビジョンは。

A ごみ袋有料化の販売手数料を基金に積み立て、さらなるごみ減量化・再資源化の施策のみに使う。

Q 市民と議会のつどいを、中学校区に1会場で開催してもらいたい。

A 当初は中学校区ごとに行っていたが、参加者

山城支所別館

(参加者11人)

Q 奈良市北部図書館が

利用でき良かったが、移動図書館は、廃止しないように検討されたい。

A 移動図書館は、廃止が決まった案件である。

が少なく3会場になった。

議員定数・議員報酬についての意見

○合併したまちでは市民の声が行政に届かなくなる。報酬を上げることも検討すればよいが、

定数を削減するから報酬を上げるという考え方は間違っている。

○議員が多ければ市民の声が聞けるというものではない。要は議員の資質である。

○本市は人口が増えていく。多様化しているニーズを吸い上げるためには、定数を増やしても良い。議員報酬も少し上げて良い。

○削減するほど財政は悪化していない。議員は市民のアンテナ役になっ

京丹後市議会と研修交流会

10月25日、友好都市である京丹後市議会で研修交流会を実施。

また、第一分科会では

京丹後市議会における議会改革について説明を受け、その後3分科会に分かれ研修交流を行った。

京丹後市議会では、市民と議会の懇談会に、ワールド・カフェ方式(席替えのある井戸端会議)を採用し、市民が意見を

第三分科会では「美食観光事業について」をテーマに、京丹後市の現状課題と取り組みをもとに、両市議会議員による活発な意見交換を行った。



加茂文化センターでの市民と議会のつどい



京丹後市・木津川市議会議員研修会(全体会)

採決結果 賛否の分かれた議案のみ掲載 賛成＝○ 反対＝× 退席＝△ 欠席＝空白 議長は採決に加わらない		議案名(第4回定例会)												
		議会議員報酬等に関する条例の一部改正	特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正	教育長の給与等に関する条例の一部改正	一般会計補正予算第4号	修正動議 一般会計補正予算第4号	子どもたちのためにゆき育子と環境を求める請願書	学校施設のバリアフリーをすすめてください	保護者の経済的負担が大きい給食費の軽減を図ってください	公立保育園の統廃合の見直し	高齢者が安心して暮らせる介護保障の実現にむけての意見書	委員会の閉会中の継続審査及び調査(職員定数及び議員報酬検討特別委員会)	議員定数を定める条例の一部改正	議員の定数の削減を求める請願書
議員名	会派名													
谷口 雄一	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
森本 隆	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
山本 和延	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
尾崎 輝雄	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
長岡 一夫	民主未来	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	
河口 靖子	民主未来	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	
炭本 範子	民主未来	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	
西岡 政治	民主未来	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○			
西山幸千子	共 産	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
森岡 譲	共 産	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
宮嶋 良造	共 産	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
酒井 弘一	共 産	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
森本 茂	木津川	○	○	○	○	×	×	×	×	△	○	×	×	
片岡 廣	木津川	○	○	○	○	×	×	×	×	△	○	×	×	
谷川 光男	木津川	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
島野 均	公 明	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
九社前聿朗	無会派	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
高味 孝之	議 長	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
採決結果		可決	可決	可決	可決	否決	不採択	不採択	不採択	否決	否決	可決	採択	

平成31年 第1回(3月)定例会予定

月	日	曜 日	会 議 ・ 委 員 会	場 所
2月	14日	木	議会運営委員会(議会招集告示)	第1委員会室(5階)
	21日	木	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
	22日	金	本会議(予備日)	議場(6階)
	25日	月	総務文教常任委員会	第1委員会室(5階)
	26日	火	厚生常任委員会	第1委員会室(5階)
	27日	水	産業建設常任委員会	第1委員会室(5階)
	28日	木	補正予算特別委員会	第1委員会室(5階)
3月	4日	月	本会議 一般質問	議場(6階)
	5日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	7日	木	本会議 一般質問	議場(6階)
	8日	金	本会議 一般質問	議場(6階)
	11日	月	予算特別委員会	全員協議会室(5階)
	12日	火	予算特別委員会	全員協議会室(5階)
	13日	水	予算特別委員会	全員協議会室(5階)
	15日	金	議会運営委員会	第1委員会室(5階)
	18日	月	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
	20日	水	本会議(予備日)	議場(6階)

一般質問

19人が市政を問う



<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

議会中継
スマホに対応



インターネットで市議会の
生中継や録画配信が
ご覧いただけます。

木津川市議会

検索



交通量が増え危険な交差点

地域ぐるみで通学路の安全を

学校と地域長の連携を取りたい

Q ①保護者からの改善要望の内容とその対応は。防犯カメラの設置は。②要望を「地域の総意」として集約するために、行政地域制度の役割とは。

A 教育部・総務部①通学路の信号設置等の要望があり、通学路安全

推進会議で協議。実態を確認し見守りや登下校の指導をする。木津警察へ要望し、関係部署と情報共有を進める。他の地域要望と合わせ安全推進会議に諮る。

②自治会のない地域も含め地域長が連携・協同し、調整役を担っている。

Q 働く保護者は、子どもたちの健やかな成長と安心して働きに行ける体制を願っている。

①城山台の現状は。いま待機があるのはどこか。

必要な子どもがいる。情報共有に日誌の活用を。③新年度以降の見通しは。

A 市長・健康福祉部①待機はない。相楽児童クラブの待機が26人。

②学校とも連携している各クラブの様式で記録し情報共有している。

③指導員の募集時期も早めた。全員受け入れ可能しっかりと体制をとる。



日本共産党

西山幸千子

放課後児童クラブの充実

A 健康福祉部①毎年待機児童が発生。②③

Q ①現在の保育園申し込み状況と定員確保は。②民営化を進める中、民間保育園の定員増は可能か。③公立保育園の定員増は可能か。④来年度の児童クラブ申し込み状況と定員確保は。

Q 木津駅東側の整備は内水排除ができません

今後の事業見通しは

Q 内、UR所有の土地、約19haを(株)F S Jが購入

A 建設部 内水排除対策が最重要である。

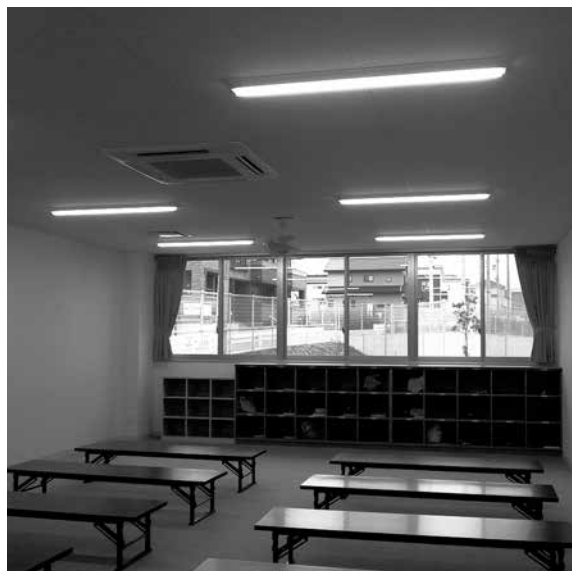
木津東地区55haの市街化区域への編入はできないと思われる。市の考えは。



さくら会
尾崎 輝雄

した。
①市の担う役割は。②造成は、組合施行か。③都市計画の用途地域について、市の考えは。

A 建設部①地権者と連携をし、新たな施行主体による早期事業化に取り組む。②土地を譲り受けた事業者が今後、検証・検討される。③「学研都市建設計画」や「第2次木津川市総合計画」を踏まえ検討する。



城山台放課後児童クラブ

待機児童の受け入れ対策は

民間・公立に関わらず増員可能



良好な生活環境を

Q 東日本大震災・大阪府北部地震の教訓を踏まえ、ブロック塀の高さ規制等、次の事項をたず。①市道に接するブロック塀に対する高さ規制を。(1.6m以内)②法の定めに基づき、設置されているかの確認は。

A 建設部①建築基準法施行令で補強コンクリートブロック造等の高さの規制が行われている。本市では高さの規制は行っていない。②府や民間の機関である

指定確認審査機関に申請され、その申請に基づき検査されている。③ブロック塀等の撤去工事に係る費用に対し一部補助を行う。今議会にブロック塀等緊急安全対策支援事業費補助金に関する補正予算案を提案した。

補強ブロック塀への助成は

今議会の補正予算案に提案した



民主未来クラブ
西岡 政治

3期目の市政の評価を問う

評価は市民にってもらう

Q

①当尾や上粕茶間屋など地域の資源を生かし、活性化できたか。

②企業誘致の状況と今後の見通しは。③保育園待機児童ゼロは達成しているのか。④クリンセンターの稼働後の取り組みと環境問題に対する進め方は。⑤宇治木津線の事

業化の今の動きは。⑥地域包括ケアシステムの構築の進捗状況は。

A マチオモイ・健康福祉部他①都市計画の

規制緩和の手続きを進め、活性化に取り組んでいる。②24社の立地が決定、14社が操業を開始している。③国基準の待機児童は、



民主未来クラブ

長岡 一夫

狭い踏切の対策は

Q

JR関西本線の第一灯籠寺踏切の幅が非常に狭く、自動車の対向ができない。今後の対策は。

A 建設部 現在のところ、改良計画はない。



第一灯籠寺踏切 (JR関西本線)

城山台児童クラブの安全確保を

31年度は学校の空き教室を活用

Q ①31年度211人と

なる城山台放課後児童クラブの机4人掛は窮屈すぎる。健全な環境改善対策を図れ。②城山台の街区表示板設置を進めよ。③東中央線鹿背山大平町のJR関西本線と交差付近は遮音壁が必要。④「七夕祭り」の復活を望

A 健康福祉部・総務部他①城山台小の空き

む市民の声を聞くべき。教室を活用し、健全育成に努める。②申請に基づく現物支給の先進事例を検討する。③騒音測定で対応する。④警察の見解で市道335号の通行止めができない。



木津川の会

森本 茂

学校の体育館に空調等を

Q

体育館はスポーツ学習の教育施設である。また、災害時の指定避難所にもなっている。空調設備等の設置を国の緊急防災・減災事業債を活用して整備すべき。

Q

次はどこがごみ焼却場を持つのか。

A 市民部 組合で検討すべきと考えている。

新焼却場は永久的使用が

A 教育長・総務部 児童生徒の体育館使用期間と頻度が少ないので、不要。

災害時は、レンタル等で対応する。



【写真上】京奈和自動車道の手厚い遮音壁(曽根山区)

【写真下】東中央線「R163バイパス」にも遮音壁を(鹿背山区)

事務の効率化と民間活力の活用

定員適正化と組織体制の見直しは

Q 「組織体制の見直し」と「定員適正化計画」の検討状況は。

また「窓口業務の民間委託」は。

2年後導入予定の「会計年度任用職員制度」の検討と予算の見直しは。

A 市長室 行財政改革による簡素化・合理

化や民間活力の活用に向けて調査検討中。

会計年度任用職員制度は、嘱託職員や臨時職員の任用の厳格化と一般職の非常勤職員制度の創設。労働環境の改善をはかる。試算では約3億円の増加。

人口は微増。税収にも影響すると考えるがどうか。

公共施設の禁煙対策は



さくら倉 克伊

Q 本市は全国的に稀な人口増加の市であるが、少子高齢化の波はきている。持続可能な市の発展の施策は。人口は増加しているが生産年齢

人口は微増。税収にも影響すると考えるがどうか。

改正健康増進法が2年後に施行される。公共施設の喫煙のあり方を見直す時期と考えるが。

A 政策監・健康福祉部 生産年齢人口の比率は減少し、高齢化は進んでいる。将来の税収増を目指して、改革を進めていく。

敷地内の禁煙も2年後までに、措置する必要がある。



市役所の受付窓口



児童がこしらえ、飾り付けた恭仁っ子バス

手話言語条例の制定を急げ

次のステップで考える

Q 前回の質問から約3年が経つ。どう検討したのか。府が条例を策定したことは大きい。国は2020年を目標に検討中である。市も2020年までに制定を。

A 健康福祉部 今年度、職員対応要領を策定する。

福祉避難所と連携を

Q 台風や豪雨により避難所が開設された。①台風24号の避難者約100人中、高齢者と要配慮者は何人か。②福祉避難所は何力所か。

A 総務部 ①高齢者は33人。要配慮者の把握

はしていない。②16力所。



民主未来クラブ 炭本 範子

Q 避難所には要配慮者がおられたのに要配慮者への対応ができていなかったが。

A 健康福祉部 福祉施設と訓練する予定。

地域と共にある学校に

Q 学校評議員制度は機能していない。府教委が力を入れているコミュニティスクールの導入はいつか。

A 教育部 モデル的に、実践する学校を検討。

Q 成功に終わったが今後の開催は。

A 市長 火が消えないよう次の段階へ進む。

木津川アート

恭仁地域の移住者への対策を

地域の方と一緒に移住促進

Q ①恭仁小学校の児童数の現状と今後の推移は。②木津川アートの話題になったが恭仁地域への移住対策はあるのか。

決を進める。

A 教育部・マチオモイ

①現在、全児童46人。今後、5年先30人と徐々に減少する。②移住促進のために施策を行い、解

Q ①向陽台地域の下水道はどうなるのか。

②全市営住宅に下水道接続を。

A 上下水道部・建設部

①向陽台は合併浄化



公明党

島野 均

槽で対応。②市営住宅の半分は整備済み。それ以外は、建て替え、長寿命化のストック総合活用計画で考える。

消えかけの市道白線は

Q ①市内の横断歩道その他、道路上の白線

が消えている状態を早期発見し改善を。②市道を修復、改善するために「道路不具合通報システムアプリ」の導入を。

A 総務部・建設部①交

差点等の白線が消えて見えない箇所は市からも公安委員会、木津警察に重ねて要請する。②市民から道路情報収集できるので、アプリは導入自治体の効果、費用を参考に検討。



恭仁っ子大作戦中の恭仁小学校



横断歩道旗があるのに

予算を確保ししゅんせつを実施

河川内の土砂等のしゅんせつを

Q 大雨による被害を抑えるために次の点を聞く。①この2年間で

除草、しゅんせつされた河川数は。②河川内の土砂等のしゅんせつは計画的に。

A 建設部①28年度が12河川、29年度が15河川を実施。②毎年予算を

確保し、渇水期に実施。

出水期間中では、大雨の後、土砂の堆積で通水を阻害している場合は適宜実施。

ライン表示の修復を急げ

Q 消えて見えなくなっているライン表示



日本共産党

森岡 譲

の修復で事故を未然に防ぐために次の点について聞く。①この3年間のライン表示の修復は。②横断歩道の修復は何箇所あったのか。③教育委員会として学校周辺の横断歩道等の調査は行っているのか。

A 建設部・総務部他①毎年4千mを実施。②木津署に確認したところ30年1月から10月の間に26カ所の横断歩道の修復を上申されていると聞いている。③各学校で通学路安全マップを作成し、危険箇所の把握を行っており、情報を共有して随時通学路、横断歩道等の状態を点検している。

Q 世帯主変更や年金請求等の負担を軽くするために、ワンストップでできる窓口「ご遺族支援コーナー」の設置を考えてはどうか。

A **市民部** 死亡届提出の際には、一覧表を手渡し、窓口案内するなど、対応に努めている。

Q 事務文書や議会資料の印刷には、多くの紙を使用しており、ペーパーレス化により、庁内全体の書類の使用料は相当削減できる。

A 行財政改革の観点から、ペーパーレス化を導入す

死亡時の手続きを丸ごと支援 ワンストップで手続き完了努める

市のペーパーレス化を



民主未来クラブ

河口 靖子

る考えはあるのか。

A **総務部** タブレットを導入し、職員会議には、ペーパーレス化を進めている。今後も一層の紙使用の費用削減に努める。

Q 職員の労働環境を改善するため、1人ひとりの業務量や人間関係を含む職場環境の見直しが必要。

A **市長室** 引き続きノー残業デーの徹底と国家公務員の超過勤務縮減を含えて取り組む。

職員の長時間労働縮減を



「最大13課の手続きを1カ所に」三田市の取り組み



急ピッチで工事が進む木津東バイパス(岡田国神社から)

市内交通インフラ整備を問う

地元住民に工事内容を周知する

Q ①木津東バイパス工事に伴う、国道24号迂回路設置工事等の地元説明等は。②鹿背山高架橋の上部工事が完成すれば、(仮)木津川橋の北側と南側同時に接道するのか。③宇治木津線は物流や観光等の経済効果や災害等の緊急時の代替道路

となり4車線にするべきでは。④市道335号の歩道の整備を。

A **市長・建設部** ①片側通行や通行止め等は、夜間施工の予定。周辺地域長に説明、地域住民には工事回覧等で周知している。②南北同時供用を要望している。③全線2



さくら会

伊藤紀味枝

Q ①虐待の通告件数は。②児童相談所との連携は。③他市町へ転入出

児童虐待対策の強化を

した時の事務引き継ぎ等の連携やサポートは。④乳幼児健康診査時に虐待が発見しやすい。未受診者への対応は。

A **健康福祉部・教育部** ①112件。②情報交換、支援の内容等を共有し連携。③切れ目のない支援体制に努力。④電話、訪問、巡回相談等行い、現況確認している。

産後ケア事業のスタートを

前向きに検討し進めていきたい

Q 出産した母親の10人に1人が、身近に相談できる者がいない等の不安な環境により、産後うつ等の症状が出るとの報告がある。①市の出生数は。②事業の必要性和協議の状況は。

A 健康福祉部 ①29年度637人。②妊産婦

や乳幼児が安心して健康な生活ができるよう、利用者目線に立った支援が期待されている。現在、保健所等と協議中である。

Q 事業実施に向けて速やかな取り組みを。

A 市長 産後うつの現状は承知している。子どもを産み育てるに



さくら会

谷口 雄一

は、多くのサポートが必要であり、関係機関と協力し進めていきたい。

地域活動支援金の見直し

Q ①交付実績と見直し内容は。②見直し時期と地域の理解は。

A 総務部 ①29年度1387万円。交付金総額の単価を1世帯当たり500円から300円に、均等割額を20万円から12万円とする。厳しい財政状況の中、防犯灯LED化による地元負担の軽減を踏まえ、支障のない範囲で行う。②周知期間も含めて1年間延長し、2020年4月から実施する。今後とも丁寧な説明に努める。



子育て環境のさらなる充実を
子育て世代包括支援センター「宝箱」(市役所2F)



造成工事が行われている城山台9丁目土地

城山台9丁目土地の造成はなぜか

係争中の案件で答弁を控える

Q これまで「土砂の仮置き」としていたのに国道事務所は造成工事をしている。説明を求め。

A 建設部・副市長 国土交通省が土砂搬入後に整地作業を行う。現在係争中の案件で答弁を控える。

Q 裁判は土地購入の是非を問うもの。裁判に支障がない部分は答弁すべき。市民の関心事に答えないとは何事か。

A 市長・副市長 議会を軽視する思いはない。市民との協働」を否定するものだ。

地域活動支援金の削減



日本共産党

酒井 弘一

Q 市は地域活動支援金の削減を提案した。

その後地域長役員会で提案を変更したのはなぜか。1年以上かけて削減を予告し続けてきたものを変更して、地域長には文書だけで伝えた。朝令暮改

A 総務部 11月28日の政策会議で、総括的に判断し、1世帯当たりの交付金削減を1年延期した。

他に、木津東バイパスの天神山線の工事について質問した。

Q 2025年に市内の後期高齢者は現在の約1.5倍に増加し、免許返納者も増える。交通弱者を支える公共交通政策を問う。

A 市長・マチオモイ ①29年度144人。

①運転免許自主返納者は。②年間約26万人、前年比増加。持続可能な運行を目指す。

③木津東バイパス開通後、城山台の子ども・高齢者③バス路線延長には、市

城山台から図書館へバス路線を 市全体の交通体系見直しが必要



コミュニティバスの総合見直しを

Q 西日本豪雨災害で自治体の情報伝達が避難行動につながった。地域防災計画を問う。

①災害発生時の情報の伝達手段は。



さくら会
森本 隆

の交通体系見直しが必要。避難情報発信に工夫を

A 市長・総務部①防災無線、防災メール、地域の連絡網等で伝達。②1週間を目標に発行。③公共施設中心に検討中。④教育課程に防災を組み入れ、子ども向け防災ハンドブックを準備中。



木津東バイパス完成後、路線の見直しが必要な「きのつバス」

コミュニティバスの経路見直しを 市民の声を聞き協議会で協議する

Q ①山城・加茂路線を、土・日・祝に運行の考えは。②時間帯およびルートの見直しは。南加茂台から木津へ。木津川台住宅から学研病院を経由して祝園駅へ。棚倉駅から祝園駅への新設を。③精華町の「くるりんバス」との相互広域連携・

協力の考えは。

A 市長・マチオモイ①希望する地域でワークショップを開催し意見を聞く。②持続可能な運行に努める。③精華町との連携は考えていない。

Q ①高齢者への情報提供は。②高齢者世帯へ戸別訪問の取り組み状況は。③戸別受信機の購入希望者への対応は。④聞こえにくい屋外スピーカーの対策は。

A 総務部①特定の情報発信はしていない。②761世帯の内124



木津川の会
谷川 光男

空家等放置の対策は

Q ①空家の調査後の対策は。②雑草等の行政指導は。③所有者不明の土地の課税は。

A 市民部・総務部他①指導を継続。②早期に改善指導。③課税保留は19件。

世帯が登録。③個人購入は、あり方を検討。④音量や向きを調整しているが未解決。

市民サービスの低下は最小限に

経費縮減に向け支所事務を見直し

Q 山城支所は、30年10月より7人から4人体制になった。社会体育施設を利用するには、中央体育館または、加茂文化センターへ行かなくてはならない。

A 政策監 見直し方針として、きめ細やかな制度説明が必要なサービスは本庁事務とし、支所業務は証明書の発行や申請書等の取次業務のみとした。

Q その時点で、アスパピアやましろで手続きができるよう、委託先



さくら会
高岡 伸行

しやすくなる。手続き業務を行えるのでは。

A 市長・教育部 もう一度、教育部と協議してもらえばと考える。サービス向上のため、3年間から5年間契約にした。再度、委託先と協議を検討する。



アスパピアやましろでも手続きを



造成地の看板(城山台9丁目)

夏休み期間の短縮理由は

児童の負担を考慮して決定

Q 英語教科新設に伴い、夏休みが短縮される。長期休暇後の環境変化に児童が情緒不安定になるが対応は。

また、国の調査で、自殺、不登校の実数が出たが、市内の自殺の件数は。

A 教育部 児童生徒の変化を見逃さない指

Q 城山台児童クラブは4月に新設されたばかりだが、4年生に待機児童があると聞か



会派に属さない
九社前 肆朗

消防署移転の市民説明は

Q 城山台9丁目に消防署移転の看板が設置されたが、住民への説明は。

A 総務部 本年7月に説明会を開催。

Q 消防庁は、用地について地震に対する高い耐震性を確保するよう言っているが。

A 副市長 係争中のため答弁を控える。

A 健康福祉部 夏休み前に全て受け入れた。仕事を辞めた方への回復措置・補償は。

Q 健康福祉部 申し入れがないので答弁は控える。

Q 急速に増えている城山台の子育て世代人口の対応について問う。
①放課後児童クラブの整備は万全か。②校区は木津中で、自転車通学。危険箇所の把握は。また、遠すぎると思うが通学区を木津南中に変更することは。③チャイルドシー

城山台の子育て環境の整備は
子どもの安心・安全を最優先

A 健康福祉部・教育部
①来年度は空き教室を利用し次年度以降は新しくクラブを整備し、希望者全員が利用できるよう対応。②安全に通学す

トの貸し出しを。④近くの保育園に入れない子どものために、保育ステーション事業を。
③予定はない。④検討したが、行わない。
健診率向上のために



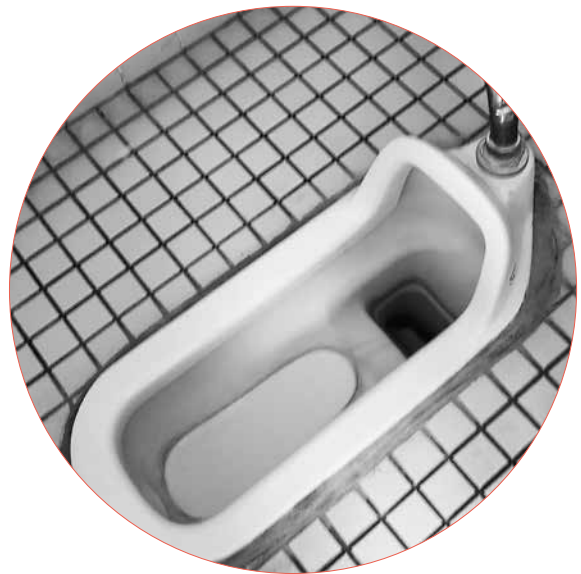
公明党
柴田はすみ

Q ①特定検診とがん検診を同時受診できるようにしては。②医療用ウィッグに助成を。
A 健康福祉部①実施に向け検討中。②予定はない。
Q ①新住民や高齢者に優しい窓口。
A 市民部 一人ひとりに寄り添って対応している。

ワンストップの窓口を



希望者が全員入れる城山台児童クラブへの改善を



洋式トイレを増やす山城中

洋式トイレ数に格差改善が必要
山城中は増やす他は今後の課題

Q ①山城中の洋式トイレ数は答弁と違う。
②洋式トイレ率、1便器当たりの児童生徒数は。
③洋式トイレ率は男子で山城中14%、木津二中21%。女子で山城中6%、上狛小11%。1便器に40人以上は男子5校・女子3校もあり増設は急務。

A 教育部①訂正し、お詫びする。山城中は増設を考えている。②小学校48%、19人に1台、中学校46%、23人に1台。
Q ①有料後の量と公表は。②減量しづらく

ビニ・プラごみは無料に

コミバスは福祉施策

A 市民部①可燃ごみは減った。ごみ量は見える化し公表する。②有料袋で減量を進める。
かさばるプラごみは無料に戻せ。



日本共産党
宮嶋 良造

Q きのつバスは乗客が減少。高齢者等の移動の機会を保障する福祉と位置づけ値下げせよ。
A マチオモイ 値上げの影響はあったが、値下げは行わない。
Q 教員の異常な超勤なくせ
A 法に基づき過労死ラインを超える働き過ぎをなくす具体化を。
A 教育部 出退勤を記録し是正に努力する。

わたしの 意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしております。（220字以内）



北口 みき さん
(城山台)

子育てしやすい 街づくり

市の「子育てしやすい街」との標語を見て、転居しました。城山台に住み慣れた頃、小学4年生の子どもが学童待機となり困

りました。突然の待機通知に市から見放されたと感じました。4年生と言えども、まだ子どもです。長時間一人で留守番させるのは不安です。夏休みは、昼食を一人で食べるようになります。市の人口増加で子どもも増えていきます。希望する児童が学年に関わらず利用できるように、親子ともに安心して過ごせる街であることを切に望んでいます。



楠原 章男 さん
(加茂町大畑)

故郷に帰る

3年前に親の介護のため故郷の木津川市に帰りました。40数年ぶりに暮らす当尾の郷は静かで空気が澄み、四季の移り変わりが鮮やかで心の落ち着きを感じます。

子どもの頃と変わったことは耕作放棄地の増加、山林・竹林の荒れ、防獣柵の設置でしょうか。定年退職後に放置された田畑を元に戻し、米と野菜を作り始めました。今後は山林の手入れや獣害対策にも取り組み、少しでも当尾の郷の景観と環境が維持できればと考えています。



下浦 悦子 さん
(山城町椿井)

笑顔のこぼれる 高齢者

新聞で読んだ「毎日一十百千万のこと」が、今でも心に残っています。一回の排便、十人と話す、百字書く、千字読む、万歩歩く。

私には、「十人と話す」が一番の難関だと感じました。木津川市でも高齢者向けの施策が行われ、参加すれば課題も解決します。しかし、身近な地元で毎日気軽に立ち寄れるサロンのような「場」があると、多くの人に会えて話すことができ、地域のつながりも広がるのではないのでしょうか。私も地域の中で集い、学び、笑顔で暮らしていけることを願っています。

編集後記

昨年は、各地で自然災害が発生。その対応に苦慮した一年でした。

今年は、良好な気象条件のもと、地域で四季の良さが満ち溢れる社会の構築に向け、行政と連携し取り組みでまいります。今後、編集にあたっては、市民目線で市民の皆さんの期待に応える広報づくりを目指します。市民の皆さんの声をお届

けくださいますようお願いいたします。

西岡 政治

広報編集委員会

委員長	河 口 靖 子
副委員長	柴 田 はすみ
委員	谷 口 雄 一
委員	森 本 隆 茂
委員	伊 藤 紀 枝
委員	西 岡 政 治
委員	酒 井 弘 一

お知らせ

3月定例会は2月21日(木)からはじまります。
詳しい日程は、13ページをご覧ください。

議会に関するご意見や要望がございましたら、議会事務局まで一報ください。

議会事務局直通

0774-75-1240

0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp